

教職実践演習(中・高)

科目ナンバリング ESS-403
教職 選択 2単位

蛭間 栄介

1. 授業の概要(ねらい)

本科目は、4年間、教職課程で学んできた教科に関する科目及び教職に関する科目の知見を総合的に結集するとともに、教育実習等で得た学校現場の視点を取り入れながら、その内容を整理・統合する授業となる。

＜具体的内容＞

- (1)履修カルテ、実習日誌などを活用し、教員としての自己の専門的な資質能力や課題を把握する。
- (2)模擬授業の実施を通じて、教員としての表現力や授業力、生徒の反応を活かした授業づくり、集団での学習姿勢を育む指導法等を再確認する。
- (3)教育実習等の経験を基に、学級経営案を作成し、実際の事例との比較等を通じて、学級担任の役割や実務、他の教職員との協力の在り方等を確認する。
- (4)いじめや不登校、特別支援教育等、今日的な教育課題に関しての役割演技(ロールプレイング)や事例研究などをグループでの演習形式で実施する。

2. 授業の到達目標

- (1)4年間の教職課程の集大成として、身に付けた資質・能力が、教員として最小限必要な資質・能力として有機的に統合され、形成されたかについて確認できる。
- (2)履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることができる。

3. 成績評価の方法および基準

演習形式の授業を行うため、課題克服のための模擬授業の実施や協議会への参加の状況(30%)、そのまとめとしての提出物(30%)、グループディスカッションでの発言や演習への参加状況など(40%)を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
文部科学省

『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編』 東山書房
文部科学省 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編・体育編』 東山書房

5. 準備学習の内容

- (1)教育実習終了後の履修となるので、適宜、実習日誌の記載事項や指導教諭からメッセージの読み直しを行う。
- (2)履修カルテへの記載などを通して教職に就くための自己の資質・能力について把握しておく。
- (3)必要に応じて過去に履修した教科に関する科目・教職に関する科目のノートやレジュメなどを読み返す。

6. その他履修上の注意事項

- (1)教職実践演習は、教職課程の総まとめの授業であり、教職に就くことを希望する学生が受講する科目であることを自覚して受講する。
- (2)単に履修するだけではなく、自己の資質能力を正しく判断し、必要に応じてそれを伸ばしていこうとする積極的な学習態度で受講する。
- (3)授業は校種・免許種別のクラス編成となるので、自由に履修登録をすることはできない。クラス指定と履修登録の方法などは、秋期開始までに個別に連絡されるので、その指示に従って履修登録をする。
- (4)本学の理想とする教師像に向かって積極的に努力をすること。皆出席はもとより、課題への取組を怠る場合は、単位認定が認められないことに留意する。

7. 授業内容

【第1回】 共通ガイダンスー講義の目的の理解、教職の意義・教師の使命・ICTの活用等についてー 予習:自分が実施した教育実習について、実習生として高まったと考える教師としての資質・能力について自分なりの考えをまとめておくこと。

復習:授業で学んだことをととして、教師に必要な資質・能力についてまとめるとともに、教職の意義や教師の使命について再認識したことを整理すること。

【第2回】 教科専門性の向上～授業構成・指導方法と関連を図る～ 予習:教育実習中に作成した学習指導案を読み返すとともに研究授業を振り返り、教材研究の視点と方法について自分なりの考えをまとめておくこと。

復習:授業で学んだことをととして、授業に必要な準備と指導上の留意点について整理すること。

【第3回】 教育実習の振り返り①ーカルテ・実習日誌を用いた自己分析・意見交換ー 予習:自己の教育実習を振り返り、自己の課題について、自分なりの考えをまとめておくこと。

復習:授業で学んだことをととして、教育実習における自己の課題を明確に整理すること。

【第4回】 教育実習の振り返り②ーグループワークによる課題整理・発表ー 予習:教育実習における自己の課題を抽出し、課題の種類に応じて分類するなどの整理をしておくこと。

復習:授業で学んだことをととして、グループの意見交換によって明確となった教育実習で得られた成果や課題について再度整理すること。

【第5回】 授業力の向上①～模擬授業(体づくり運動)と研究協議～ 予習:体づくり運動の指導と評価の在り方について、自分なりの行い方をまとめておくこと。

復習:授業で学んだことをととして、体づくり運動の指導と評価についてまとめるとともに、模擬授業の成果と課題を整理すること。

- 【第6回】 授業力の向上②～模擬授業(体づくり運動)と研究協議～ 予習:体づくり運動の指導と評価の在り方について、自分なりの行い方をまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、体づくり運動の指導と評価についてまとめるとともに、模擬授業の成果と課題を整理すること。
- 【第7回】 授業力の向上③～模擬授業(剣道)と研究協議～ 予習:柔道(または剣道)の指導と評価の在り方について、自分なりの行い方をまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、柔道(または剣道)の指導と評価についてまとめるとともに、模擬授業の成果と課題を整理すること。
- 【第8回】 授業力の向上④～模擬授業(ダンス)と研究協議～ 予習:ダンスの指導と評価の在り方について、自分なりの行い方をまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、ダンスの指導と評価についてまとめるとともに、模擬授業の成果と課題を整理すること。
- 【第9回】 授業力の向上⑤～模擬授業(保健)と研究協議～ 予習:保健分野(科目保健)の指導と評価の在り方について、自分なりの行い方をまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、保健分野(科目保健)の指導と評価についてまとめるとともに、模擬授業の成果と課題を整理すること。
- 【第10回】 授業力の向上⑥～模擬授業(保健)と研究協議～ 予習:保健分野(科目保健)の指導と評価の在り方について、自分なりの行い方をまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、保健分野(科目保健)の指導と評価についてまとめるとともに、模擬授業の成果と課題を整理すること。
- 【第11回】 授業力の向上⑦～模擬授業(体育理論)と研究協議～ 予習:体育理論の指導と評価の在り方について、自分なりの行い方をまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、体育理論の指導と評価についてまとめるとともに、模擬授業の成果と課題を整理すること。
- 【第12回】 授業力の向上⑧～模擬授業の総括～ 予習:自分が行った模擬授業で得られた成果や課題についてまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、授業づくりに必要な事項について整理すること。
- 【第13回】 生徒指導・学級経営の課題～場面指導(いじめ、不登校等)～ 予習:教育実習中における生徒指導やホームルーム等での指導について、自分の体験をまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、生徒指導の事例について整理するとともに、仲間の事例と対処法を参考に、自分なりの考えや心構えについてまとめること。
- 【第14回】 特別支援教育の課題演習【オンラインによる講義】
- 予習:特別支援教育の意義や心構え、実際の行い方について自分なりの考えをまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、特別支援教育の重要性について教育実習での経験を踏まえて整理すること。
- 【第15回】 まとめと評価～教職の意義・教師の使命の再焦点化～
- 予習:本講義で再認識した教師に必要な資質・能力について自分なりの考えをまとめておくこと。
- 復習:授業で学んだことをとおして、自己の教職課程の学びを振り返るとともに、その学びを今後はどう生かしていくかについて整理すること。